

東京都市大学後援会誌 [ティ-シー-ユー-コム]

no. **41**

2010.
January



TCU-COM

p.01 後援会副会長挨拶

p.02 平成21年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p.05 平成21年度 就職動向と支援

p.07 キャンパスSpot⑩

p.09 クラブ活動紹介⑦

p.13 Campus Topics

p.15 平成21年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

就活に向けて

昨年来の世界的な景気悪化は学生への影響も深刻になっており、卒業年次の学生も未だ内定が出ない厳しい状況にあります。そして2011年春の採用計画は「2010年度並の厳しい状況」との報道も流れる中、現3年生の就職活動がスタートしました。人材確保・人材育成は重要な経営課題であります。そうした経営課題に応えるべく、企業の採用担当は、質の高い人材、その中でも「キラリと光る人物」を欲しています。人事に関わってきた私の経験をお伝えすることで、就職活動を迎える学生の皆さんや後援会会員の方々へ何らかの参考になれば幸いです。



東京都市大学
後援会副会長

堀内 忠

当時の私たちと現在の学生を比較してみると、「自己PR力」「自己分析力」などと、私たちの時代とは比較にならないほど現在の学生が様々な「力」で勝ると感じます。しかし、優れた「力」を持ちながらも、過去の新人と比べて入社後の成長度合いや人間的な魅力の点で「差」を強く感じることはありません。今も昔も「キラリと光る人物」は極少数です。「キラリと光る」には何が不足しているのでしょうか。「成長著しい人物・目指したい人物」、一方、対極的視点で「こうはなりたくない人物」を見比べると以下二点がヒントになると思います。

一つは「Don't be afraid to fail.」。人生は失敗の繰り返し、偉人であっても多くの失敗を経験し、それを糧として大きく成長しています。生存競争熾烈なビジネスの社会が舞台です。これから社会に出ようとする学生の方々には失敗を恐れずに、果敢に人生に挑戦して欲しいと願います。自立した社会人として長い人生を歩む第一歩、失敗を恐れず踏み出して下さい。

二点目は「ぶれない自分」です。平山郁夫氏の著書『ぶれない』（三笠書房）において「心の奥底に潜む甘えを断ち切り、『ぶれない』生き方の基準を持つことで、人生はもっと豊かに、思い通りにいきられるはずだ。」と述べています。「ぶれない自分」を持つことにより自信に漲って物事に取り組むことができ、「キラリと光る人物」に成長していくことになるかと確信しています。

「Don't be afraid to fail」「ぶれない自分」をヒントに就職活動に取り組んで下さい。

平成21年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

例年通り、後援会と大学の共催により全国各地で開催されてきた「大学と保護者との連絡会」。平成21年度は、9月26日に世田谷、横浜の両キャンパスに加え、本年より新設された等々力キャンパスの3カ所で行われた東京・横浜地区連絡会をもって無事に幕を閉じました。ここでは当日参加された保護者の皆様の感想なども含めて、その様子をレポートします。



井上淳 後援会長



中村英夫 学長

「大学と保護者との連絡会」は、大学の近況、学生生活、課外活動の様子や最新の就職状況などについて大学側から報告するとともに、学生指導に深く関わっている教職員や卒業生が各会場に出向いて、保護者の方々が抱えている疑問などに直接回答する行事です。平成21年度は大学名を改称した記念すべき年度ということもあり、全国各地22会場で行われた連絡会はいずれも盛況。その掉尾を飾る東京・横浜地区連絡会も例年以上の参加者となりました。

既存の学部も新設学部も思いは同じ！ 保護者の気になるテーマはやはり就職

世田谷キャンパスには、午前11時の受付開始時刻のかなり前から、工学部・知識工学部・都市生活学部・人間科学部の保護者の方々が多数お集まりでした。受付を済まされた皆様はまず学食へ。午後1時からの「全体説明会」を前

に、普段学生たちが食べているのと同じメニューを試食していただきました。その後キャンパス見学、さらにアリーナに移動して「課外活動紹介」として吹奏楽団の演奏を楽しんでもらった後に、いよいよ全体説明会がスタートしました。

まず中村学長が、保護者の方々が最も心配している就職の話題に触れ、厳しい状況の中にあっても、本学の少人数教育やインターンシップ制度などへの取り組みは企業側に評価され、結果、高い就職率を誇っていると報告。今後ともいっそう将来の就職を見据えた教育に力を入れていくことを約束しました。



全体説明会(世田谷)

参加された保護者の方々の感想 世田谷キャンパス



川村 友宏君(情報科学3年)のお母さん
3年生なので、卒業できる条件と就職活動に関する具体的な話を聞きに来ました。息子の就職を保護者側からもフォローしたいです。



原嶋 瞭君(情報科学1年)のお父さん
大学の雰囲気や環境がつかみたくて初めて来ました。厳しい就職状況だからこそ、専門性を追求する授業を期待しています。



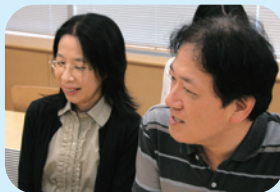
山田 聡君(電気電子3年)のお父さん
3年生ですが、息子が進学するとすれば、どのような対応策が必要なのか聞きたいと思っています。食事も実際に食べてみておいしかったですね。



臼井 孝光君(エネルギー-化学1年)のお父さん
息子が好きで選んだ学科なので、就職などを考えるよりも、「自分が大学に来てよかった」と思える学生生活を送ってほしいですね。



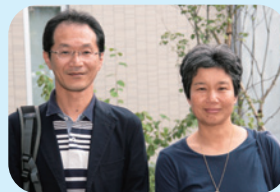
加藤 翔君(都市3年)のお母さん
3年生なので、学科別の説明会に期待してやってきました。就職の状況や、息子の専攻内容などについて聞きたいと思っています。



江藤 智哉君(機械システム2年)のご両親
息子の成績について話を聞きたいと足を運びました。キャンパスもきれいだし、学生たちも皆まじめそうで安心しました。



永井 沙知さん(建築2年)のお父さん
娘の就職活動に関わることを知りたくて来ましたが、私も一度ここで学んでみたかった、そういう気にはせるキャンパスですね。



伊藤 恵実さん(生体医2年)のご両親
娘が1年生の時は地区会場での連絡会に参加しました。大学を挙げて学生を支援してくださり、すばらしいことだと思います。



全体説明会が行われる前に
吹奏楽団が演奏を披露(世田谷)



CAFÉ SORAで
くつろぎのひとつ(世田谷)

続いて片田工学部長は、工学分野では、進捗著しい昨今の技術開発のスピードに乗れる人材が求められていることを説明。理論の勉強はもちろんのこと、ものづくりという実践が行える卒業生を社会に送り出したい、と教育方針を伝えました。学部創設3年目を迎え、初めての就職期を控えた宮内知識工学部長は、「満足のできる教

育」「満足のできる進路」「満足のできる研究成果」をテーマに就職支援にも力を入れていくことを説明。また、本年度から新たに創設された都市生活学部の平本学部長は、都市の生活における空間・商品・サービスなどの企画から実現までできる力を持った人材育成を目指すとした上で、「前期には学生たちが実際に商品開発をするというようなこともあった。これからも着実に歩んでいきたい」とその熱意を語りました。同じく本年度から創設された人間科学部の近藤学部長は、少子高齢化や核家族化、さらに女性の社会進出といった時代のさまざまな流れに合わせた教育が重要だと話し、「インターンシップやボランティアなどを積極的に推奨していく」と抱負を述べました。

最後に井上後援会長が「私たちの目的は保護者が大学と連携を取りながら学生を育成していくことです。インターンシップなどには積極的に参加していただきたいので、保護者の方々も後押しをお願いします」とまとめて全体説明会は終了。その後、工学部・知識工学部は各教室へ、都市生活学部・人間科学部は等々力キャンパスへ移動し、学科・学年別の説明会・懇談会が、そして希望者には個人面談が行われました。

参加された保護者の方々の感想

横浜キャンパス



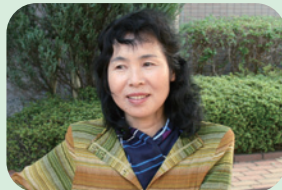
渡邊 大晃君(情報メディア3年)のご両親
連絡会に参加するのは初めてですが、キャンパスや施設の様子と就職についての情報を少しでも得られればと思って参加しました。



矢野 真梨奈さん(環境情報1年)のお母さん
就職の方向性については早めに話してきたいですね。そのために、必要な勉強があれば知りたいし、先輩の進路も聞きたいです。



久米克明君(環境情報4年)のお父さん
毎年来ています。学校の情報を聞ける機会があるのはいいですね。前は、一つ上の学年の子を持つ方から話が聞けて良かったです。



大野 和人君(環境情報4年)のお母さん
エコツアーに参加するのは2回目です。連絡会では目的をもって話を聞けたし、来た人じゃなければわからない情報ももらえてよかったです。



中村 聡志君(情報メディア2年)のお母さん
学生さんの雰囲気がとてもいいし、キャンパスも清潔で好印象を受けました。先生たちから学生を育てる熱意も伝わってきました。



割村 大樹君(環境情報2年)のお母さん
先生方がとても丁寧に対応してくれたのがよかったです。この会では直接担任の先生とも話せるし、とても有意義だと思います。

会場に参加者全員が入りきらない!? “熱い”保護者たちが集まった横浜会場

一方の横浜キャンパスは、午前10時受付開始という世田谷キャンパスよりも1時間早いスケジュールでスタートしました。こちらも多く保護者が参加され、全体説明会会場として用意していた300人収容可能な横浜

学科・学年別懇談会(横浜)



全体説明会(横浜)

学科別説明・懇談会(等々力)



シャトルバスを利用し、等々力キャンパスへ移動

キャンパス最大の31A教室はほぼ満席。入りきれなかった保護者の方には、32A教室でのネットワーク中継で参加していただきました。

午前10時30分から始まった全体説明会では、中村学長、井上後援会長、増井環境情報学部長、小堀大学院教務委員長、小林YCキャリア委員会委員の順に壇上で説明を行いました。ここでも学長は、インターンシップなどを強力に推し進めることが就職支援として有効であると強調。増井学部長は学部・学生の活動と評価、エコロジカル・キャンパス、サイバーキャンパスなどや学生生活の話を、小堀教務委員長は大学が行うべき教育、卒業までに学生が身につけるべき能力、自己発見のための大学のサ

ポートについて説明し、小林委員は就職について経済学を交えながら話しました。熱心にメモを取りながら話を聞く保護者の姿も多く見られ、特に就職に関する話題には関心も高かったようです。

全体説明会の後は学食での昼食。ボリュームたっぷりのメニューは保護者の方々にも好評でした。その後、ISO学生委員会による



ボリュームたっぷりの昼食

エコキャンパスツアーに参加いただき、午後1時からは学科・学年別懇談会が行われ、随時解散となりました。

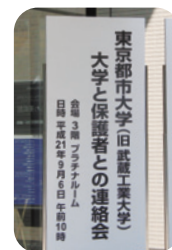
世田谷・等々力・横浜とも、参加された皆様には充実した1日を過ごされたことと思います。今回ご都合がつかなかった方も、来年はぜひ、ご参加ください。

さいたま会場

関心の高さを実感した「成績」と「就職」

世田谷キャンパス 教務課 山中 慎一

埼玉県在住の保護者を対象とした「大学と保護者との連絡会」を、9月6日(日)午前10時より「浦和ロイヤルパインズホテル」にて開催し、22世帯31名の保護者の方にご参加頂きました。



本会では、環境情報学部環境情報学科の吉崎教授から、大学全般の近況

について、知識工学部情報ネットワーク工学科の岡野教授から、就職・大学院進学について、写真や資料を画面に投影しながら説明を行いました。続いて事務局より、学生生活、学修(授業・成績)について、実際の成績通知書を使つての成績評価、単位修得の目安、また、生活状況や奨学金の貸与状況などについて実務的側面からの話しを交えながら、説明を行いました。

最後の質疑応答では、「大学院と学部の就職の違い」「大学院への進学率」「成績の算出方法」等について、活発なご意見・ご質問が出され、「成績」と「就職」への関心の高さを改めて実感しました。

本会で得た貴重な情報や、保護者の皆様とのコミュニケーションを、今後の東京都市大学の発展へ大いに役立てて行きたいと思つています。



参加された保護者の方々の感想

等々力キャンパス



中川 留美子さん(児童1年)のお父さん
キャンパスが綺麗で環境がとてもいいですね。この学科を通して、子どもの心を育てることができるような人材を育成してほしいです。



杉山 洋介君(都市生活1年)のお母さん
今日はわからないところがあったので、それを聞きに来ました。今後の日本をよきしていくような人を育ててほしいですね。



西宮 芳さん(都市生活1年)のご両親
娘の学生としての日常生活を知りたくて来ました。説明会はわかりやすかったし、こういう場はコミュニケーションの役に立つと思います。



松永 典子さん(児童1年)のお母さん
今日は学校の様子を見学すること、個人面談をするために来ました。説明会でいろいろとお話が伺えてよかったです。

平成21年度の就職動向と支援

1 大きく様変わりした企業の採用活動 売り手市場から買い手市場へ

2010年卒業予定者の就職活動・採用活動はここ数年間の状況と大きく様変わりしました。これまでは企業の採用意欲は明らかに上昇傾向にあり、前年より採用数を増やす企業が減らす企業を上回り、増やす企業の割合が年々増加してきました。しかしながら2008年末頃から景況感の深刻な悪化にともない、2009年卒採用者の内定取り消し、大手企業の採用数の大幅な減少または採用停止などが頻りに報道されました。企業の採用意欲は景気動向を鋭く反映し、この不況を背景に過熱していた人材獲得競争に一旦終止符が打たれた状況となりました。

このような採用動向は企業の採用活動はもとより学生の就職観にも大きな影響を与えることとなりました。

2 就職は厳しくなると認識 「安定志向」と「長く勤めたい」との意識が上昇

学生は就職活動のスタート時から就職環境に強い危機感を持ち「就職は前年よりかなり厳しくなる」と意識がこれまでと180度変わりました。これを反映し、学生の意識は安定した会社で長く勤めたいという堅実な考えが強くなったように感じます。

「安定志向」と「長く続けたい」を会社選びの軸として考える学生の増加は、いずれも近年の学生傾向に現れていましたが、厳しい景況感を受けて一段とその傾向が強まり、「不況に負けない安定した企業」＝「大手企業」という発想から大手志向の傾向が進んだように思えます。

また、安定志向という意識から公務員志望者も増加し、官庁、地方公共団体、警察、消防、独立行政法人等への志望者も増加しました。

3 企業の採用姿勢 これまで以上に厳選採用を徹底

企業の採用姿勢として厳選採用が前年以上に徹底され、内定率、内定社数が前年と比べ減少したことにより、企業は少ない採用枠の中で優秀な学生を確保することに注力し、厳選採用が行われたため、内定をもらえる学生となかなかもらえない学生との「二極化」がこれまで以上に顕著となりました。前年までは内定辞退を見越し多めに内定を出していましたが、今年は内定承諾を見込める志望度の高い学生のみに通ずるといった傾向が見えました。

このため学生は内々定を受けたらその段階で就職活動を終了し、他

の企業には挑戦しないという割合の増加が感じられました。学生は、入社先を決めて早く落ち着きたいとの気持ちが強くあり、大企業を希望していた学生が内々定の早かった中堅企業に内定を決めるといった事例もありました。

4 採用拡大から採用縮小へ 業界・業種の幅を広げた取り組み

これまで毎年数多くの本学学生が就職を希望し、内定者を輩出してきた人気の高い大手メーカー、すなわち自動車業界や電機業界など日本を代表するメーカーの業績が外需低迷で業績不振に陥り、採用抑制の傾向が他業界以上に強くあらわれました。そのため大手メーカーにパーツを供給する部品メーカーなどにも大きな影響を与え、メーカー全体での採用数は減少しました。

これらの業界にこだわり、業種や会社を絞らずに学生は、結果的に内々定を取れない状況が続き、就職活動を長期にわたって継続せざるを得なくなった事例も見られました。来年度も厳しい採用環境が想定されることから内定を勝ち取っていくためには、業界・業種の幅を広げる、企業規模の幅を広げるといったビジネスフィールドを広げた取り組みも必要とされることと見られます。

5 今年度の内定状況

以上のような厳しい採用環境の下、本学では例年以上に就職支援行事を増やし、就職課、学生サービスセンターおよび就職担当教員によるきめ細かい就職指導・支援(別表、就職・進学活動スケジュール参照)や卒業生等リクルーターによる積極的かつ親身な就職サポート等、学生の就職支援に全力を注いできました。

その結果、就職希望者における内定率は、文部科学省発表による大学卒業予定者の就職内定率62.5%(10月時点)の数字を大幅に上回り、それぞれ工学部80.1%、大学院工学部88.9%そして環境情報学部68.9%、大学院環境情報学研究科65.0%の実績を上げています。

なお、業種別の内定占有率の上位の業種は工学部・大学院工学研究科では輸送機器、電気機器、建築、精密機器、情報通信、機械となっております。環境情報学部・大学院環境情報学研究科では情報・通信業、サービス業、電気機器、サービス業、その他製造業となっております。

平成21年度主な就職内定先企業等 (平成21年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・大学院工学研究科	
■輸送用機器	村田製作所……………1
スズキ……………5	リコー……………1
本田技研工業……………4	ローム……………1
トヨタ自動車……………2	富士通……………1
日野自動車……………2	日本IBM……………1
日産自動車……………1	古河電池……………1
■機械	■情報通信サービス
富士重工業……………2	NTT東日本……………4
小松製作所……………2	NTTデータ……………4
牧野フライス製作所……………1	日立ソフトウェアエンジニアリング3
■精密機器	みずほ情報総研……………3
キャノン……………4	■電力
富士ゼロックス……………3	東京電力……………3
日立メディコ……………2	東北電力……………1
ニコン……………1	中部電力……………1
セイコーエプソン……………1	四国電力……………1
■電気機器	■運輸
日立製作所……………10	JR東日本……………10
三菱電機……………6	JR東海……………6
東芝……………4	東京地下鉄……………2
京セラ……………2	■建設
沖電気工業……………2	大和ハウス工業……………6
浜松ホトニクス……………2	大成建設……………5
シャープ……………1	大林組……………4

環境情報学部・大学院環境情報学研究科		
■電気機器	■有線放送	木下工務店……………2
日立製作所……………6	イツコミュニケーションズ……………1	パナホーム……………2
山武……………1	■サービス	鹿島建設……………1
沖電気工業……………1	セコム……………4	東急建設……………1
東芝……………1	ぐるなび……………2	住友林業……………1
三菱電機……………1	ヤフー……………1	協和エクシオ……………1
■精密機器	ドワンゴ……………1	積水ハウス……………1
セコム……………2	東急コミュニティー……………1	オリエンタル工業……………1
セイコーエプソン……………1	アジア航測……………1	■建設コンサル
■輸送用機器	■運輸	大日本コンサルタント……………1
本田技研工業……………1	JR東日本……………4	オリエンタルコンサルタンツ……………1
■その他製造	日本通運……………2	■小売
岡村製作所……………2	リコーロジスティクス……………2	セブンイレブン・ジャパン……………1
日本たばこ/JT……………1	JR北海道……………1	■その他
レンゴー……………1	京浜急行電鉄……………1	神奈川県警察……………2
日本無線……………1	東武鉄道……………1	横浜市役所……………1
■情報通信サービス	■広告	日本銀行……………1
CSKホールディングス……………4	JR東日本企画……………1	静岡銀行……………1
野村総合研究所……………3	■不動産管理	
NTTデータ……………3	東急リハパル……………1	
みずほ情報総研……………2	■宿泊	
コナミデジタルエンタテインメント……………1	星野リゾート……………1	
ソフトバンク……………1	■建設	
NTT東日本……………1	NECネットエスアイ……………2	



就職・進学活動スケジュール

工学部・知識工学部

1・2年生(進路・勉強方法を考える)

- 4月 ○△▲自己発見レポート(1年生)
- △▲自己プログレスレポート(2年生)
- △▲自己発見レポートフォローガイダンス
- △▲自己プログレスフォローガイダンス
- 8月 ○インターンシップ等に積極的に参加
- 10月 ○卒業生による業界研究会

3年生(進路についてより具体的に考える)

- 6月 ○各学科就職ガイダンス(第1回)
- 就職講演会(3回)
- 公務員説明会(2回)
- 7月 ○就職講演会(2回)
- SPI模試
- 8月 ○インターンシップ等に積極的に参加
- 公務員試験対策集中講座
- 9月 ○職業適性検査
- 職業適性検査フォローアップガイダンス
- 各学科就職ガイダンス(第2回)
- 就職講演会
- Uターン就職ガイダンス
- 10月 ○就職セミナー(全4回)
- 卒業生による業界研究会
- 自己分析・エントリーシート対策(全4回)
- 就職試験対策(SPI・一般常識)(1月まで)
- リクルートファッションセミナー

- 11月 ○公開模擬面接講座
- 公開グループディスカッション講座
- 面接&グループディスカッション実践講座
- エントリーシート個別対策講座
- 各学科就職ガイダンス(第3回)
- 12月 ○業界・企業研究、エントリー
- 学内企業研究会
- 面接&グループディスカッション個別対策(3月まで)
- 公務員説明会(冬期ガイダンス)
- 1月 ○エントリーシート個別対策講座
- 2月 ○学内企業研究会
- 国家・地方公務員採用試験申込書入手
- 公務員試験対策集中講座
- △推薦資格取得のための大学院認定試験
- 3月 ○学内での希望調査及び推薦者決定

4年生(就職・進学活動の本番です)

- 4月 ○各学科就職ガイダンス(第4回)
- 国家・地方公務員採用試験申込書提出
- △大学院推薦入学試験(A日程)学生募集要項入手・願書提出
- ▲指導教授と相談の上、進学先の検討
- 4~7月 ○採用試験(3月から開始の企業あり)
- 採用内々定
- 国家公務員採用試験(1次・2次)
- 官庁訪問(国家公務員)
- 地方公務員採用試験(1次・2次)
- 5月 △大学院推薦入学試験(A日程)

- 6~8月 ●採用内々定(国家公務員)
- 8月 ●地方公務員採用試験合格発表(翌年1月頃までに内定)
- △▲大学院入学試験(B日程)学生募集要項入手・願書提出
- 9月 △▲大学院入学試験(B日程)
- 10月 ○採用内定
- 学内での採用内定報告手続
- 1月 △▲大学院入学試験(C日程)学生募集要項入手・願書提出
- 2月 △▲大学院入学試験(C日程)
- 3月 卒業式

資格講座(全学年対象)

- 6月,7月,11月 ●公務員ガイダンスおよび講座説明
- 8月, 2月 ●公務員試験受験対策講座
- 10~5月 ●公務員試験模試
- 6月,11月 △本学大学院進学のための基礎科目認定試験(数学、物理学、化学)

環境情報学部(公務員試験等のスケジュールは工学部・知識工学部のスケジュールと同じですので上記を参照してください)

1・2年生(進路・勉強方法を考える)

- 4月 ○△▲自己発見レポート(1年生)
 - △▲自己プログレスレポート(2年生)
 - △▲自己発見レポートフォローガイダンス(1年生)
 - △▲自己プログレスフォローガイダンス(2年生)
 - 5月 ○△▲インターンシップ対策講座
 - 8月 ○△▲インターンシップ等に積極的に参加
- (3年生用の就職支援プログラムには全学年参加可能です)

3年生(進路についてより具体的に考える)

- 4月 △▲大学院の各専攻内容や入試問題等を検討
- 就活オープニングセミナー①~⑥
- 職業適性検査・SPI模試
- 5月 ○就職ガイダンス①「これからすべきこと」
- △▲インターンシップガイダンス
- インターンシップ選考対策講座
- 職種研究セミナー
- 6月 ○就活支援サイト活用セミナー
- グループワーク講座
- △▲自己分析相談会
- 質問力養成講座
- 6~7月 ○前期業界研究会(全5回・各業界代表的企業を招聘)
- 7月 ○内定者座談会
- OB、OGによる業界・職種研究会
- 環境就職相談会
- 就職ガイダンス②「夏休みの過ごし方」

- 8月 ○△▲インターンシップ等に積極的に参加
- グループワーク体験講座
- 9月 ○△▲キャリアアプローチ(職業適性検査)
- 就職活動実践スタートセミナー
- 文章力強化講座(全5回)
- 9~10月 ○△▲進路希望面談(全員対象)
- 10月 ○CSR情報活用セミナー
- 就職ガイダンス③「就活用語の基礎知識&企業セミナー対策」
- 10~11月 ○後期業界研究会(全7回・各業界代表的企業を招聘)
- 11月 ○新卒採用模試&対策講座
- 12月 ○面接対策セミナー
- GD対策セミナー&演習
- 就職ガイダンス④「就活マナー講座・実践編」
- 新卒採用模試・解説講座
- 世田谷キャンパス企業研究会(全3日間・代表的企業約70社を招聘)
- 1月 ○企業研究会&学校推薦ガイダンス
- 1~2月 ○模擬面接&GD講座(全6回)
- 2月 ○横浜キャンパス企業研究会(全3日間・代表的企業約150社を招聘)
- 世田谷キャンパス企業研究会(全3日間・代表的企業約80社を招聘)

4年生(就職・進学活動の本番です)

- 4月 ○就職ガイダンス(求人状況・活動心得等)
- 学内での希望調査及び推薦者決定
- ▲指導教授と相談の上、進学先の検討
- 2~7月 ○採用試験(年内から開始の企業あり)
- 採用内々定

- 5月 就職ガイダンス(活動アドバイス)
- 学内企業研究会
- △大学院推薦入学(A日程)募集要項入手・願書提出
- △大学院推薦入学試験(A日程)
- 8月 △▲大学院入学試験(B日程)学生募集要項入手・願書提出
- 9月 △▲大学院入学試験(B日程)
- 10月 ○採用内定
- 学内での採用内定報告手続
- 1月 △▲大学院入学試験(C日程)学生募集要項入手・願書提出
- 2月 △▲大学院入学試験(C日程)
- 3月 卒業式

資格講座(全学年対象)

- 5~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回)
- 9月 ○公務員・SPI試験対策講座

都市生活学部・人間科学部

1・2年生(進路・勉強方法を考える)

- 4月 ○△▲自己発見レポート(1年生)
- △▲自己プログレスレポート(2年生)
- 5月 ○△▲自己発見レポートフォローガイダンス(1年生)
- △▲自己プログレスフォローガイダンス(2年生)

記号意味【○:就職希望者(○民間企業希望者、●公務員希望者)、△:本学大学院進学希望者、▲:他大学大学院希望者(留学含む)】

世田谷キャンパス SAKURA CENTER#14の巻

創立75周年記念事業の一環として2004年3月に竣工され、以降世田谷キャンパスのシンボリックな存在となった「SAKURA CENTER #14(14号館)」。明るく開放感に満ちた学生食堂やカフェ、さまざまな体育関連施設、売店などを擁するこの建物は、その前面に広がる芝生を敷き詰めたSAKURA GARDENとともに、学生たちの憩いの場として、また豊かなキャンパスライフの立役者として、今やオアシスのように大切な役割を担っています。今回は、学生たちのいきいきとしたコメントを通して、その多彩な機能性と充実した設備の一端をご紹介します。



1F エントランスを入ると、正面に学生食堂、右手にトレーニングルームなどがあります。



CANTEEN RARA (学生食堂)

およそ1000席を備える広々とした学生食堂。旧体育館の床材をリサイクルして使用するなど、エコロジーに配慮しているのが環境情報学部を持つ都市らしいところです。椅子などは北欧の著名デザイナーによるもので、若いうちから良いモノに接することで美的感性を高めてほしいという思いが込められています。

現金も使えますが、学生の多くはちょっとお得なプリペイドカードを利用。定食や丼物、麺類などメニューも豊富。学生からの要望を受けて、つねにバリエーションの充実に努めています。



食堂の壁には円周率と世界各国の建造物をモチーフにし壁画が……。実は建築学科の学生と美術部員が作成したものです。



左から内藤陽太君(システム情報工学 博士前期2年)、長谷恵莉奈さん(同学科4年、以下同じ)、松木博紀君、土肥名央登君。「みんな希望していた企業に就職が決まりました。栄養もボリュームもたっぷりのランチを食べ続けたおかげかも。感謝してます(長谷さん)」。ごらんの通り、みなさん完食です!



営業時間/平日8:30~9:30、11:00~19:00、土曜は16:00まで

SAKURA GARDEN

全学生と教職員の交流の場であり、癒しの空間でもあるSAKURA GARDEN。昼休みともなれば、大勢の人が思い思いに心身のリフレッシュを図っています。



トレーニングルーム

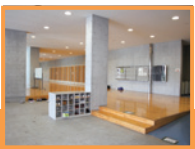
多くの器具を備えるトレーニングルーム。部活やサークルの利用が多いようですが、もちろん一般学生や教職員も健康維持のために有効活用しています。この日はラグビー部の面々がトレーニングに勤しんでいました。



機械4年の前田祐司君(左)は、まずは準備運動代わりに70kgのベンチプレスを10回3セット。「たくましい肉体に強靱な精神が宿る。就職活動も部活で鍛えた精神力で乗り切りました」。加藤寛己君(機械3年)は「現在地区対抗戦の真っ最中。パワーをつけて優勝目指します」と、力強く語ってくれました。

2F

カフェや、アリーナ1(体育館)、武道場、体育事務室などがあります。



CAFÉ SORA (カフェ)

一階から続くスロープをあがった中2階は、人気のスポット「カフェ ソラ」。SAKURA GARDENを臨む側は一面のガラス張り、まるで中空に浮かんでいるかのよう。オリジナルの焼きたてパンは、売り切れ御免。これを目当てにキャンパスを訪れる近隣の住民も多いそうです。



いつも笑顔の玉木さん、曾我さん、北澤さん(左から)。「一番人気はチーズサラミパン(180円)。学生さんの要望を受けて販売を始めたカフェソラ・サラダ(100円)や、セルフサービスのソフトクリーム(180円)も大好評です。保護者のみなさま、お近くにお出の際は、ぜひお立ち寄りください!」



コーヒーブレイクを楽しむ二人。左の沙蕾さんは中国、右のタンブンスパーボンさんはタイからの留学生です(ともに情報科学2年)。「教育設備が整っていて、就職にも強いということで、都市大で学ぶことにしました。ここはパンが安くておいしい、景色もすばらしいですね」と、流ちょうな日本語で話してくれました。

3F

ふだん卓球室として利用されているアリーナ2に加えて、先生方の研究室のほか、茶室や、体育会本部、新聞会、吹奏楽団、学生団体連合などの部室があります。



ARENA2

卓球台が10台置かれたアリーナ2。写真左手の壁に可動式の椅子席が収納されており、式典の時には観覧席に変身します。



「とてもきれいなSAKURA CENTERは、僕のお気に入りです」と、学生団体連合で企画を担当する宮川紘一君(機械システム3年)。現在、クリーンキャンパス運動を推進中とのこと。「自分たちのキャンパスは、自分たちで美しく!」

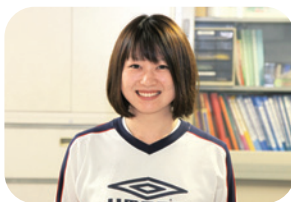
ARENA1 (体育館)



体育の授業や課外活動で使用されるほか、入学式や卒業式の会場ともなるアリーナ1。収容人員は2700名。この日はバスケットボールの授業が行われていました。なお、月・水・金の開放日には、体育事務室でボールなどの用具を貸し出してくれます。



授業の担当教員である浅野鉦世先生は、本邦ハンドボール界の重鎮。年齢を感じさせないきびきびとした動きは学生より若々しくいらいます。「コートが2面あるので、いっぺんに40名くらいの学生を指導できます。採光も良く、最高の施設ですね!」



「学生に間違えられてマネージャーに誘われました」と笑う体育事務室の体育助手、佐藤夢奈さん。「スポーツや体育館のことで相談があれば、お気軽に声をかけてください!」



左から南部洲児君、木村昌裕君、上原大樹君。いずれも都市大1年生です。「僕は都市大に名称変更されて第1期生。朝一番の体育はきつけれど、大学の名に恥じぬよう頭も体も鍛えます!」

武道場

体育館の右横には、柔道、剣道、空手道の武道場があります。この日は柔道部が猛稽古に励んでいました。



B1F

文具ストア

地下1階には文具や書籍を揃えた売店があります。ポスター発表に使えるA全判に対応した大型カラープリンタも用意。なお、この階は図書館の地階とも連結されています。



ついに都市大グッズがお目見え! クラッチバッグ(625~630円)、ボールペン(84円)、シャープペン+4色ボールペン(840円)とお手頃なお値段で、店長によれば「保護者の方が買われることもあります」とのこと。

システムエンジニアを目指している若林竜彰君(情報科学2年)。「定価の2割引なので、文具類はいつもここで買ってます。今日はレポート用紙をゲットしました!」



2009年に創部50周年の節目を迎えた伝統ある「剣道部」と、横浜キャンパスを拠点に活動する新制「フットサル同好会^{フリース}Freak's」。若いエネルギーが炸裂するこの2団体の活動の様子をご紹介します。

悲願達成まであともう一步!
全国大会出場を目指す

剣道部



顧問：久保 哲也(環境情報学科 准教授)
学生責任者：岩田 賢尚(機械工学科3年)
部員数：23名(うち女子部員1名)

主な活動

- 5月 関東学生剣道選手権大会／世田谷六大学
剣道新人大会／東京都学生選手権
- 6月 関東理工系剣道優勝大会／OB総会
- 7月 ナイトラリー
- 8月 夏合宿(湯沢)
- 9月 世田谷六大学優勝記念大会／
関東学生優勝大会
- 10月 創部50周年記念式典／関東理工系新人大会
- 11月 関東学生剣道新人戦大会／東急大会
- 12月 OB稽古会
- 3月 春合宿

理工系3位入賞、関東学生優勝大会でも好成績。 強豪ひしめく全国大会出場を虎視眈々と狙う!

むせかえるような熱気の中、竹刀のぶつかり合う激しい音と、突き抜けるような気合いの音が交錯し、SAKURA CENTER2階の剣道場はまるで地鳴りを受けたかのように小刻みに震撼し続けています。顧問の久保哲也先生が叩く和太鼓の音に従って、素振りやかかり稽古を繰り返す、胴着に身を包んだ凛々しい学生たち。創部50周年の歴史を持つ剣道部は、関東学生剣道連盟、関東理工科系、世田谷六大学学生剣道連盟に所属して、こうして日々稽古に励みながら、これら団体が主催する各種の大会に出場しています。

2009年度に掲げた一番の目標は、「全国大会出場」。6月の関東理工科系優勝大会で2年連続3位入賞を果たして勢いに乗った後、迎えた9月13日、日本武道館で行われた第58回関東学生優勝大会団体戦が全日本出場の切符をかけた正念場となりました。93の大学がしのぎを削るこの大会で、都市大剣道部は2回戦まで順当に勝ち上

がったものの、3回戦で強豪日本体育大学(今大会優勝)に敗退して、敗者復活戦へ。ここで2連勝すれば「ついに全国!」……でしたが、残念ながら尚美



日本武道館で行われた開会式の様子

学園大学に惜敗し、悲願達成は翌年に持ち越しとなりました。同大会をもって4年生は現役を引退。岩田賢尚君(機械3年)を主将とする新体制がスタートしました。

「全国大会出場という創部以来の快挙達成を目指して、日常の練習や合宿を通じて、稽古の質をより一層高めていきます」と、岩田君。「僕たちが誇れるところは、部員全員がそれぞれ目標を持って、厳しいながらも楽しんで稽古を続けている点。大会で結果を残すことはもちろん大切ですが、学業と両立しながら、己の技と心を磨いていけるよう、みんなを引っ張っていきたいと思います」



中村学長より激励のお言葉をいただく(左から渡邊師範、学長、久保先生)



厳しい稽古に励み汗を流す部員たち

鈴木監督からのオーダー発表に緊張感が高まる
(世田谷六大学大会)



部員の“和”を重視した適度な上下関係 女子部員も入部してますます活動に広がり

練習は、月・水・金・土の週4日。そのほかに、3泊4日の夏合宿や春合宿で心技体の鍛錬を繰り返す剣道部。めきめきと実力をつけてきたその背景には、「八段範士という剣道界最高位に君臨する渡邊哲也師範を筆頭に、本学電気工学科OBの鈴木進監督、顧問の久保先生ともに7段。これほど恵まれた環境は他にはありません」(岩田君)。主務として同学年の岩田君を補佐する竹川浩庸君(都市3年)も、「時に厳しく、時にやさしく、各人の実力にあわせたメリハリのある稽古をしてくださるので、技術だけでなく、精神力、自信もついていくようです」と、すばらしいコーチ陣からの指導が大いに役立っていると言います。

ところで、体育会、しかも礼節を重んじる武道系ということで、さぞ上下関係が厳しいのかと思いきや、「稽古はきついけど、練習が終われば、上下の別なく、みんなすごく仲良しです」と、副主将の富河卓哉君(環境情報2年)。体育会役員を務める杉田正太郎君(生体医3年)も、「上級生に対する最低限の礼儀さえ忘れなければ、高圧的な上下関係でなく、自由な雰囲気の方がチーム全体の和が保てます」と、何度も首を上下に振ります。

「今年からは、上下関係だけでなく、男女の隔たりもなくなりました」と笑うのは、世田谷六大学幹事の吉澤光騎君(エネルギー化学2年)。実は、久方ぶりに女子が1名入

部したからです。その紅一点、藤澤美咲さんは、吉澤君が言う通り、男子部員と同じ道場で、男子部員とまったく同じ練習メニューをこなしています。「私が相手だと先輩方が手加減してくださるようで、申し訳なく思っています」と、藤澤さんが言えば「いや、まったく本気でやってるんだけど」と、吉澤君。そんなやわらかな掛け合いの中に、和気藹々とした都市大剣道部の実像がうかがい知れます。

10月11日に創部50周年記念式典をとりおこない、コーチ陣や卒業生らを前に、これから始まる新しい50年に向けた決意を示した現役部員たち。「部員一人ひとりが掲げた目標を、着実にクリアしながら、さらに高いところを目指してがんばります」、取材の最後にそう語った岩田主将の力強い一言に、翌年の全国大会出場が垣間見えた気がしました。



岩田賢尚君は、いかにも主将らしい落ち着いたまなざしの中に、静かな闘志を秘めています。



福岡出身の富河卓哉君は、「大学院で環境についてもっと学びたい」と、文武両道を宣言。



「先輩は後輩の面倒を見て、後輩は先輩を立てる。これが都市大剣道部です」と、吉澤光騎君。



竹川浩庸君の目標は、「レギュラー7名の一角に定着すること」。趣味は鉄道です。



「つらい稽古が終わった後、自分が少しだけ成長した気がするんです」と杉田正太郎君。



紅一点の藤澤美咲さんは、「女子一人は寂しい。私と一緒に剣道する女のこいませんか?」

伝統ある同好会の火を絶やすな! 見事に存続と新生を果たした
フリース
フットサル同好会 **Freak's** (旧サーパス)



顧問: 大谷 紀子 (情報メディア学科 准教授)
学生責任者: 横川 隆司 (環境情報学科3年)
部員数: 65名

主な活動

- 5月 新入生歓迎イベント/体育祭
- 7月 ナイトラリー
- 8月 夏合宿(尾瀬)
- 12月 忘年会
- 1月 後期納会
- 2月 冬合宿/追い出しコンパ

名門同好会存続の危機を救うべく
環境情報学部の有志が心をひとつに立ち上がった

1997年、環境情報学部の創設からほどなくして生まれたサッカー同好会キッカーズ。翌98年にはその名をサーパスに変え、以降10年以上にわたって横浜キャンパスの名門同好会として活動を繰り広げてきました。そして2009年11月、「心機一転し、新たな同好会の歴史を築くため」という理由から、再び名称を変更。新たに『フットサル同好会Freak's』としてスタートを切っています。

実はこの前年、サーパスは会員の参加率が極端に低下し、代替わりさえ危ぶまれる、まさに存続の危機に瀕していたのです。そんな中、メンバーの一人が、中高時代にサッカー部で活躍し、当時テニスサークルに入っていた2年生の横川隆司君(現・環境情報3年)に「同好会存続のた

め力を貸してほしい」と相談します。

「突然のことでしたし、どこから手をつけていいのかわからない。正直迷いましたが、それまでどちらかというと消極的だった自分を変えたい、この大学に自分が学んできたことの証を残したいという気持ちが強くなって、がんばることにしました」(横川君)

まずはサーパスの代表と膝詰めで話し合い、メンバーのうちで残留を希望する者をピックアップ。さらに、学内のサッカー仲間や友人に声をかけたところ、1年生だった原澤雄司君(環境情報2年)や西井悟君(同2年)たちが、横川君の熱意に共感し、会員集めを担ってくれることになりました。努力の甲斐あって、20名前後の会員が入会しましたが、メンバーが確保できては顧問なくしてサークルは成り立ちません。横川君たちは情報メディア学科の大谷紀子先生に就任を依頼することにしました。「僕たちが

まじめに取り組んでいることを、まず分かってもらおうと、『活動の様子を見てからご判断ください』と申し出ました。その後、快くお引き受けくださったので、本当に胸をなで下ろしました」(横川君)

こうして2008年12月、新生サーパスが正式に動き始めたのです。



合宿での川遊び後の1コマ

新名称「Freak's」の
ロゴ入りユニホーム





男女MIX大会出場を目標に女子部員も練習に参加。



束の間の休息。でもすぐ……。



赤城高原SAにて

**再生初年度から女子を含む多くのメンバーを確保、
来年度以降はさらに充実した活動を展開していく**

09年度に入ると、女子も含めた数多くの新入会員を得て、いきなり65名の大所帯に。世田谷・等々力キャンパスでの積極的な勧誘活動もあって、環境情報学部だけでなく、工学部や都市生活学部、人間科学部からも入会者を得ることができたのです。

練習は原則として月曜日と金曜日。バス回しなどの基礎的なトレーニングの後は、試合形式で汗を流します。毎回30名以上が集まり、参加率もまずまず。5月には体育祭のフットサルに2チームが出場し、1年生が準優勝、2年生は優勝という、初の“公式戦”にして驚くべき成績を残しています。さらに8月には尾瀬で2泊3日の合宿も敢行。「今年はさすがに無理だと思っていたら、1年生からぜひ行きたいという要望があった」からです。

「一人ひとりが主役」を合い言葉に、みんなの意見を聞いて活動するのが僕たちのモットーですから」(原澤君)。とはいえ、旅行会社との折衝から、合宿地・宿舎の選定、練習メニューやレクリエーションなどの企画作成に加えて、参加者への連絡などなど、いきなり合宿係を任された西井君と高橋修馬君(環境情報2年)は、「もうパニック状態の大忙しでした」と言います。それでも30名ほどのメンバーが参加した名勝尾瀬での合宿では、ピンゴ大会で親交を深め、最終日にはチーム対抗の試合を行うなど、有意義

な時間を送ることができました。マネージャーの坂場涼子さん(同)と石川葵さん(同)も「一緒にプレーしたり、試合に参加したり、すごく充実していました」と、声を揃えます。

「バスでキャンパスに戻った後、みんなから胴上げされたときには涙が出そうになりました」(西井君)と、大成功だったようです。

個性を尊重し、みんなが楽しみながら、貴重な体験を重ねていくフットサル同好会。「僕は当初から3年計画の再生を考えていました」と、横川君。「09年度は同好会としてしっかり基盤を築く。2年目は学外にも目を向けて、さまざまな大会に積極的に出場する。そして3年目は技術的のスキルアップに努めていく。Freak'sとなって名実ともに「心機一転」、今後の活躍にぜひご注目ください」

再生の立役者、横川君は代表を引退し、原澤君が新代表としてその意志を受け継ぎます。2月にはスキー場での冬合宿も予定しているとのこと。伝統を礎に新たな挑戦も忘れないFreak'sの姿は、都市大のチャレンジスピリットと共通点があるようです。



石川葵さんは、夏合宿中に誕生日を祝ってもらったことが今でも忘れられない思い出とか。



マネージャー代表兼主務の坂場涼子さんは、「男女MIXの大会に参加するのが目標です」



「すべて初めてのことばかり。部員の「お疲れ様」に癒されました」と前代表の横川隆司君。



新代表の原澤雄司君は「みんなが楽しく、充実した学生生活を過ごすお手伝いをします」



「ビギナーでも楽しく取り組める練習メニューを作っていきたい」と高橋修馬君



新たに会計という役割を担う西井君は「責任を持って取り組んでいきたい」と意欲満々。

新芽祭 / モニュメント贈呈式

第1回 TCU新芽祭を終えて

TCU桐華祭運営委員会委員長 須長 千明
人間科学部 児童学科1年

2009年10月12日に等々力キャンパスで行われた第1回TCU新芽祭を無事に終了することが出来ました。ご来場の皆様、ご協力いただいた地域住民の方々、他キャンパスの方々、教職員の方々に深くお礼申し上げます。

第1回TCU新芽祭のテーマは「交流」でした。東京都市大学として名称が変わり、新たに2学部が新設されて初めてのイベントとしてふさわしいテーマであったと思います。今回のイベントでは「交流」をテーマとした様々な企画を行いました。特に、学生、地域の方々などにメッセージを書いていただき、それをボードに貼ることによって一つの絵が完成するという都市生活学部・人間科学部の合同企画では、予想以上に大勢の方々に参加していただくことができました。他の企画も小さな規模ながらも来場して下さった方々に楽しんでいただけたと思います。

今回のTCU新芽祭を経験したことで出てきた反省点をもう一度見つめ直し、それを生かし、次年度以降は芽から華に成長していけるように、気持ちを引き締めて活動をしていきたいと思っています。



等々力キャンパスへ 新学部開設記念モニュメントを贈呈

世田谷キャンパス 校友課長 若月 博雄

今年度は例年ない援助内容として、都市生活学部・人間科学部の2学部新設に対して、記念モニュメントの贈呈が事業計画としてありましたが、この贈呈式(除幕式)が2009年11月21日(土)第2回理事会の終了後、午後1時30分より等々力キャンパスにおいて行われました。

このモニュメント製作に当たっては、本年度評議員会において平成21年度事業計画が承認された後、等々力キャンパスに贈呈の旨の打診をし、それを受けて等々力キャンパスでは海老原副学長以下の「新学部開設記念品選定委員会」が立ち上がり、この委員会が実質的に製作を引き受けてくれました。

デザインは、都市生活学部URBAN LIFE STUDIESと人間科学部HUMAN LIFE SCIENCESの頭文字「U」と「H」の断面を持つ2つのステンレスの塔で、中央にはLEDランプが配置され、夜には巧妙に光る照明装置となっています。このモニュメントは、1・2号館エリアと3号館エリアにそれぞれ1基ずつ立っており、両エリアの結びつき、さらには、学生・教職員・来校者のためにも新学部の認識性を増すよう期待が込められております。

なお、贈呈式は、井上後援会長から中村学長への目録贈呈、会長の挨拶、学生代表による除幕、学長のお礼の挨拶でつつがなく終わりました。

※その他の記録写真は後援会ホームページに掲載されております。



課外活動短評

●吹奏楽団……2009年10月31日、今年で創団50周年を迎えて記念すべき第45回定期演奏会が行われ、観客約500人以上を動員し大変な盛り上がりとなり好評を得た。

●ISO学生委員会……2009年8月28日、小学生対象エコツアーを行った。日頃自分たちが消費するペットボトルがどのようにリサイクルされるのか工場で見学することにより身近な問題としてとらえることができた。

●硬式庭球部……2009年10月3日～18日、関東理工科連盟リーグ戦において、男子1部優勝を果たした。また女子は4部1位により入れ替え戦にて3部昇格を果たした。

●ラグビー部……2009年9月20日～10月25日、全国地区対抗大会予選において、関東1区予選1位通過。全国地区対抗大会への出場権を獲得した。

●準硬式野球部……2009年9月6日～27日、新関東大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦3部1位により入れ替え戦にて2部昇格を果たした。

●フットサル部……2009年関東大学生1部リーグ戦において優勝を果たした。

第80回 TCU祭

都市大として初の学園祭 テーマは「on」

第80回TCU祭実行委員会 実行委員長 青田 麻未
工学部 都市工学科3年

2009年11月21日から23日にかけて、東京都市大学世田谷キャンパスにおいて、第80回TCU祭が開催されました。今年度は等々力キャンパスが統合され、東京都市大学へ名称が変更になってから初めての学園祭であり、世田谷キャンパスの学園祭としては第80回という節目を迎える記念すべき学園祭となりました。

学園祭テーマ「on」に、「恩」「穩」「温」…と様々な意味を込めて、ご来場の方々にそれぞれの「on」を感じ取っていただける学園祭にしようと実行委員一同尽力してまいりました。3日間の開催期間で、学内生・保護者の方々、教職員・地域住民をはじめ、今年度も多くの方々にご来場いただき、お陰様で無事、終了することができました。

今年度は、研究室展示に従来よりも力を入れ、専門的で難解な研究活動を理解していただけるように各研究室にはよりわかりやすく親しみやすい方法で展示してもらいました。すごろくや模型などを用いて展示を行った研究室もあり、小さなお子様にも興味を持ってもらえたと思います。一般来場者の方々にも東京都市大学で普段どのような研究が行われているかをご理解いただけたのではないのでしょうか。

その他にも、講演会をはじめ、縁日や餅つき、芸能人ライブ、ホームカミングデー、後夜祭など様々なイベントがありましたが、どれも多くの皆様のご参加を得て盛況に終わることができました。

こうして学園祭が終了してみると、改めて皆様のご協力の下に学園祭を開催できたことが実感でき、テーマの「on」は、私たち実行委員会にとっては皆様への「恩」の気持ちの意味合いが一番強かったのではないかと感じています。

最後になりましたが、第80回TCU祭を開催するにあたり、ご協力ご来場いただきました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。



事務局便り

2009年4月より世田谷キャンパス担当の副学生部長に就任し、後援会の事務局をお手伝いさせていただいております。まずは、会員皆様の平素よりの後援会活動へのご理解、ご支援のほど御礼申し上げます。

さて、学生部では、皆様のご子息、ご令嬢が楽しく、有意義な学生生活を満喫できるように、課外活動、生活指導、福利厚生、カウンセリングといった面で、担当教員が学生課と緊密な連携を取り、日々改善に努力しております。

ここ数年来、ゆとり教育による全般的な学力低下や、周りとのコミュニケーションを円滑にとり、直面した困難を克服してゆく人間力が不足している事などが、学生資質の変化としてよく指摘されております。また、新学部、新学科の設立など学生を取り巻く大学環境の変化も大きく、これまでの画一的な指導では十分に対応できない状況となっており、学生部としても、これらの変化に即応した木目細かい指導が進められる仕掛け作りを進めたいと考えております。また、微力ですが、後援会事務局の一員として、後援会活動に貢献できればと思っておりますので、今後とも引き続き、皆様のご理解、ご支援のほどお願い申し上げます。



世田谷キャンパス副学生部長
渡辺 一郎
知識工学部 リテラシー学群 教授

◆◆平成21年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成21年度の「大学と保護者との連絡会」は9月5日(土)から始まり、最終日の9月26日(土)東京・横浜地区までの間、全国25会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月 5日(土)	札幌全日空ホテル	9
仙台	9月 5日(土)	ホテルコムズ仙台	13
山形	9月 6日(日)	ホテルキャッスル山形	4
郡山	9月 5日(土)	チサンホテル郡山	11
さいたま	9月 6日(日)	浦和ロイヤルパインズホテル	22
水戸	9月 5日(土)	ホリデイ・イン水戸	35
宇都宮	9月 6日(日)	ホテルニューイタヤ	34
東京	9月26日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	768
		東京都市大学 等々力キャンパス	
横浜	9月26日(土)	東京都市大学 横浜キャンパス	271
高崎	9月 5日(土)	ルートイン高崎	20
新潟	9月 6日(日)	ホテルオークラ新潟	11
甲府	9月 5日(土)	ホテル談露館	21
長野	9月 6日(日)	ホテルJALシティ長野	18
富山	9月12日(土)	名鉄トヤマホテル	9
福井	9月13日(日)	ホテルフジタ福井	7
沼津	9月12日(土)	沼津東急ホテル	37
静岡	9月13日(日)	ホテルセンチュリー静岡	52
名古屋	9月12日(土)	ホテルサンルートプラザ名古屋	20
浜松	9月13日(日)	オークラアクトシティホテル浜松	20
広島	9月12日(土)	リーガロイヤルホテル広島	14
福岡	9月13日(日)	ホテル日航福岡	19
高知	9月12日(土)	高知新阪急ホテル	8
鹿児島	9月13日(日)	鹿児島サンロイヤルホテル	4
沖縄	9月12日(土)	ロワジュールホテル那覇	8
合計			1435

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	9	9
青森	0	2
岩手	1	1
宮城	14	16
秋田	2	1
山形	5	2
福島	17	18
茨城	54	61
栃木	48	37
群馬	33	19
埼玉	67	76
千葉	72	59
東京	280	232
神奈川	501	397
新潟	18	16
富山	10	8
石川	3	8
福井	7	2
山梨	35	34
長野	29	27
岐阜	6	5
静岡	137	133
愛知	17	22
三重	3	3
滋賀	1	0
京都	0	0
大阪	0	0
兵庫	0	1
奈良	0	0
和歌山	0	2
鳥取	0	1
島根	1	2
岡山	1	1
広島	10	12
山口	6	2
徳島	1	1
香川	2	1
愛媛	2	2
高知	8	1
福岡	15	14
佐賀	0	0
長崎	3	4
熊本	0	1
大分	3	1
宮崎	2	1
鹿児島	4	11
沖縄	8	0
合計	1435	1246

TCU-COM
2010.January

no.
41

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp